

<b>団 体 名</b>		突哨山と身近な自然を考える会				
<b>代 表 者</b>	<b>住所</b>	〒070-0822 旭川市旭岡1丁目16-3				
	<b>氏名</b>	出羽 寛	<b>電話</b>	0166-54-7650	<b>FAX</b>	0166-54-7650
<b>事務局</b>	<b>住所</b>	〒070-0040 旭川市10条通12丁目右4号				
	<b>氏名</b>	塩田 惇	<b>電話</b>	0166-23-8744	<b>FAX</b>	0166-23-8744
<b>Eメール</b>	dwa@af.wakwak.com		<b>ホームページ</b>	-		
<b>設 立 年 次</b>	平成3年7月	<b>会員数</b>	350名	<b>会 則</b>	有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無	
<b>活 動 資 金</b>	カタクリ募金					
<b>☆設立(活動)目的</b>						
<p>1 平成3年、突哨山のゴルフ場開発計画の白紙撤回を求め、「突哨山の自然を考える会」を結成。突哨山を市民の憩いの場として残すことを目的に活動を行ってきた。</p> <p>2 平成12年春、旭川市と比布町が自然環境保全を目的に突哨山を購入、公有地化(都市公園)したことを契機に「突哨山と身近な自然を考える会」と名称変更し、突哨山から旭川周辺の身近な自然とまちづくりについても、緑のネットワークをベースに積極的にさまざまな活動を行ってきた。</p>						
<b>☆主な活動内容</b>						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ この協議会は、突哨山の保全と利活用を目指すために結成された、市民・NPO・行政3者の協働システムである。       <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 突哨山の公有地化までの9年間は、突哨山の自然観察会、写生会、カタクリ講座、シンポジウム、写真展、お茶の間懇談会、新聞意見広告、講座本の発行、そして公有地化を求める街頭署名と全国署名活動を行った。(40676筆が集まる)</li> <li>(2) 自然観察会、各分野の作業班(歴史班、森林調査班、ササ調査班、野の花班、ザリガニ班、帰化植物班、フィールドマップ班)の活動を集約しながら、旭川市及び比布町に保全・利活用について提案を行ってきた。</li> <li>(3) カタクリ楽団(主催)と共催で「カタクリフォーラム」を毎年春に開催。</li> <li>(4) 環境関係の市民団体による「あさひかわ自然共生ネットワーク」への参加。</li> <li>(5) 「突哨山通信」等の発行。</li> <li>(6) 突哨山運営協議会への参加。</li> </ol> </li> </ul>						

**☆近年の活動状況, 今後の活動予定等**

- 1 各作業班(歴史班, 森林調査班, ササ調査班, 野の花班, ザリガニ班, 帰化植物班, フィールドマップ班)が随時活動を進める。(平成13年から)
- 2 作業班の調査資料から「調査中間報告2002」を発表。
- 3 カタクリ広場を会場に, カタクリ楽団と共催で「カタクリフォーラム」を開催。(毎年4月末)
- 4 「突哨山通信」の発行。(年1回)
- 5 突哨山入り口(刑務所側)にカタクリ広場(約8500㎡)を市民からの募金で取得(平成16年), 市民に開放。
- 6 突哨山通信で突哨山の保全と利活用を目指す「緑の岬・突哨山からの提言」を発表。(平成17年)
- 7 カタクリ広場に駐車場, トイレを整備。(平成18年)
- 8 カタクリ広場に四阿(あずまや)とビニールハウスを建設。
- 9 平成20年4月に結成された突哨山運営協議会への参加。
- 10 第17回「カタクリフォーラム」, 第7回「全国カタクリサミット」の開催。  
(平成21年4月25~26日) 主催:カタクリ楽団 共催:突哨山と身近な自然を考える会, カタクリと森の会(北見市)
  - (1) フォーラム「北海道の里山を考える」
  - (2) 野歩き, カタクリ演芸会, フリーマーケット, ワークショップほか
- 11 作業班「野の花グループ」の観察会は平成13年以来, 継続して開催, 現在はもりねっと北海道(NPO)と共催で行う。
- 12 突哨山運営協議会と共催, オサラッペ・コウモリ研究所の協力でコウモリ観察会を行う。

**☆表彰その他受賞等**